

(週刊朝鮮の書籍紹介記事)

神がくれた最高の贈物

藤家洋一著、クルマダン出版社、1万7千ウォン

著者は、日本の東京工業大学 原子工学研究所長、日本原子力委員会 委員長(2001～2007)を歴任された。彼は「原子力と現代文明は共存可能である。原子力は人類に必然的な選択」と言う。原子力を基礎とした科学技術は、ようやく第1歩を踏み出し、今後、多くの発展が期待されるという。

(新聞広告)

ブックコンサート

元日本原子力委員長 藤家洋一先生 招請

「愛国市民のための“すぐわかる”われらの原子力」

日時：2015年6月17日(水) 午後2:00(食前行事 太平舞 公演)

場所：NHアートホール(西大門5番出口)

主催：愛国市民団体連合会、クルマダン出版社

司会：Lee, HeeBum(愛国市民連合 事務総長)

特別講演 1) 李承晩、朴チョンヒ大統領が選択した大韓民国の原子力

Kim, HyungKuk教授(中央大 政治国際学科)

特別講演 2) 日本が選択した原子力、福島以後

藤家洋一博士(元日本原子力委員長)

・参加された方々、先着順で、藤家洋一博士の著書を差し上げます。

原子力を知って初めて、大韓民国は生き残れる

李承晩、朴チョンヒ大統領が選択した原子力と北朝鮮の核の危険、そして、周辺国家 中日の原子力は？
韓国は無核武装国家になれるのか、米国は韓国の核再処理を許可すべき。

東シナ海に無分別に建設中の中国の原子力発電所と北朝鮮の核に黙っている大韓民国の片目を瞑った環境団体と進歩・左翼団体たち

廃炉について、無知な人達に煽動しかしない地域環境団体たち

これが原子力発電所の廃炉、初めて海外の廃炉について、すべてを紹介する。

ビッグバンから福島原子力発電所の事故の教訓、今後の古里発電所の廃炉課題まで提示

古里原子力発電所の近隣、海雲台は、果たして不安なのか
大規模アパートを許可した当時、区庁長と地域の国会議員、プサン市長の責任は？
原子力について無知な人達、政治的な煽動に専念する地域の政治家たちと言論、環境・市民団体らに推薦
する2冊の本！

神がくれた最高の贈物 - 原子力の本当の話

新刊 / 340ページ / 本文全カラー / 17,000ウォン

韓国の核主権 - それでも、原子力だ

Lee, JungHoon(新東亜 編集委員)

新刊 / 508ページ / 本文全カラー / 5版 / 25,000ウォン